

祝 100 歳 おめでとうございます

[お名前のみのご紹介]

笠本 清子さん

ご支援ありがとうございました ウクライナ人道危機義援金

皆さまからお寄せいただいた温かいご支援は、和歌山県が開設したウクライナ人道危機義援金口座を通じ、ウクライナ支援に活用されます。ご協力ありがとうございました。

●義援金総額／103万1,018円 (3月14日～9月16日)

地域おこし協力隊を任命



10月3日(月)、有田郡にルーツを持つ京都府出身の下村祐輝さん(写真右)が、地域おこし協力隊員として任命されました。

下村さんは「一般社団法人しろにし」の一員として、来春オープン予定の移住就業拠点施設(旧城山西小学校)の運営を主な業務としながら、地域の「しごと」「あそび」を発信してくれます。

同施設は移住・就業希望者の短期滞在場所、清水地域の企業を中心とした職員寮、町民と外部人材との交流の場などの機能を持ちます。システム開発、HP構築、企画のディレクションなどの職歴を持つ下村さんに力を発揮してもらい、地域振興を目指します。

第6回有田川町社会福祉大会

9月30日(金)、有田川町と有田川町社会福祉協議会の共催で、第6回有田川町社会福祉大会を開催しました。多年にわたり社会福祉の発展向上に貢献された方々の功績をたたえ、表彰状の贈呈を行いました。大会は吉備福祉太鼓の皆さんによる力強い和太鼓の演奏で幕を開け、式典では町長表彰22人、会長表彰39人、会長感謝12人の総勢73人が受賞されました。受賞者の皆さまおめでとうございます。

記念講演では、いのちの講演家 公益財団法人和歌山県人権啓発センター登録講師 岩崎順子氏を講師としてお招きし「人は生きているだけで、誰かを幸せにしている」をテーマにご講演いただきました。いのちの大切さ、寄り添うことの大切さについて体験談を交えた先生のお話が心の深いところに届き、私たち一人一人が住みやすい有田川町について考えるきっかけとなりました。

